

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名	学校法人菅原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
情報専門課程	アニメ学科／アニメーターコース（2年制）	夜・通信	16単位 （240時間）	7単位 （160時間）	
	アニメ学科／アニメ彩色・撮影コース（2年制）	夜・通信	16単位 （240時間）	7単位 （160時間）	
	イラスト学科（2年制）	夜・通信	12単位 （240時間）	7単位 （160時間）	
	マンガ・イラスト学科（2年制）	夜・通信	12単位 （240時間）	7単位 （160時間）	
	ゲーム学科／ゲームCGキャラクターコース（2年制）	夜・通信	12単位 （240時間）	7単位 （160時間）	
	ゲーム学科／ゲームプログラムコース（2年制）	夜・通信	16単位 （300時間）	7単位 （160時間）	
	フィギュア原型学科（2年制）	夜・通信	12単位 （240時間）	7単位 （160時間）	
	IT学科（2年制）	夜・通信	16単位 （240時間）	7単位 （160時間）	
ビジネス専門課程	国際情報ビジネス学科（2年制）	夜・通信	16単位 （240時間）	7単位 （160時間）	
文化教養専門課程	声優学科（2年制）	夜・通信	16単位 （240時間）	7単位 （160時間）	
	ノベルス・シナリオ学科（2年制）	夜・通信	12単位 （240時間）	7単位 （160時間）	
（備考）（ ）内の数字（○時間）は「学校教育法施行規則等の附則第2条（経過措置）」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を掲載している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校HPに公開している。

<https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名	学校法人菅原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校HPに公開している。
<https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2026.6.1～ 2030年度定 時評議員会 終結のとき まで	学園の経営計画全 般についての的確な アドバイス
非常勤	会社役員	2026.6.1～ 2030年度定 時評議員会 終結のとき まで	学園予算について 財務運営上の的確 なアドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名	学校法人菅原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
(アニメ学科、イラスト学科、マンガ・イラスト学科、ゲーム学科、フィギュア原型学科、IT学科、国際情報ビジネス学科、声優学科、ノベルス・シナリオ学科)	
【作成について】 各授業科目については、毎年度、教育課程編成委員会の意見を各学科長及び学科担当教員により、授業科目の設定・授業方法等についての検討・検証を行っている。その内容に基づき、各授業を担当する教員により、作成を行っている。 各授業を担当する教員へは「シラバス作成の方法と手引き」を示し、学内統一様式でシラバス作成を行っている。	
【時期について】 翌年度の授業計画は12月～1月に担当教員が作成し、3月の理事会時の議案で翌年度の事業計画が承認されることで正式決定する。その後、翌年度分のシラバスを学校HPに公開する。	
授業計画書の公表方法	学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則の細目に於いて、成績の評価及び卒業・修了の認定について規定している。 (参考) ◆令和7年度の学則に於いて ・学則の細目第10条(成績の評価) - 教科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合勘案して行い、合格者に対して該当科目の修了を認定する。 2 その教科目について、出席率75%以上に満たない者は、当該科目の履修の認定はしない。 ・学則の細目第19条(卒業・修了の認定) - 第10条に定める教科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。 2 所定の在学年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。 ◆令和8年度の学則に於いて ・学則の細目第11条(単位の授与) - 単位の授与は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合勘案して行い、合格者に対して該当科目の修了を認定する。 2 その教科目について、出席率75%以上に満たない者は、当該科目の履修の認定はしない。 ・学則の細目第20条(卒業・課程修了の認定) - 第11条に定める教科目の成績評価に基づいて、次の各号に定める単位数以上を修得した者について、校長は課程修了の認定を行う。 (1) アニメ学科 アニメーターコース 88単位 アニメ彩色・撮影コース 86単位 (2) イラスト学科 90単位 (3) マンガ・イラスト学科 90単位 (4) ゲーム学科 ゲームCGキャラクターコース 80単位 ゲームプログラムコース 82単位 (5) フィギュア原型学科 74単位 (6) IT学科 104単位 (7) 国際情報ビジネス学科 118単位 (8) 声優学科 80単位 (9) ノベルス・シナリオ学科 110単位 2 所定の在学年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学科ごとに履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)仕組みを導入している。 学業成績は、授業科目ごとに行う試験(定期試験、レポートなどの提出物)及び出席率によって評価される。当校では各授業の評価を100点満点を基準として、50点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により、80点以上をA、65点以上をB、50点以上をC、49点以下をDとして、成績が通知される。 客観的な指標の算出方法としては、学生個人の全ての成績(100点満点で点数化)を合計し、履修科目数で除した点数により平均点を算出する。学科ごとに全学生の平均点を算出し、順位付けを行い、指標分布を作成する。 成績評価方法については、学校HPで公開するほか、記載している学生生活マニュアルをオリエンテーションで学生等へ配布している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校は、学校教育法に基づき、電子計算機・情報処理の専門技術、ビジネス・商業実践の教育を施し、並びに音楽やデザインの実務知識を修得させ、経済社会全般にわたる専門的な実務上の処理に充分に対応できる人材の養成をもって社会に寄与することを目的とする。 卒業要件については、各学科が定める全授業科目を所定の年次に全て合格することを定めている。詳細についてはディプロマ・ポリシーをはじめ、学則細目、学生生活マニュアル等に記載している。 本校では、ディプロマ・ポリシーを策定し、学校HPに公表している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ東京学校
設置者名	学校法人菅原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業関係		情報専門課程		アニメ学科 アニメーターコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	8 8 単位 (1,800 単位時間)		24 単位 (240 単位時間)	24 単位	40 単位 (1,560 単位時間)			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80 人の内数		27 人	1 人	3 人の内数		7 人の内数		10 人の内数	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。									

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 授業を進める中でアニメーションづくりに必要な画力を高める課題を進めながらショートアニメーションから本格的な制作での卒業制作までプロの仕事に即した授業を行う。また専任教員による進路指導や模擬面談などを精力的に行いアニメ会社への就職を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36 人 (100%)	0 人 (0.0%)	35 人 (97.2%)	1 人 (2.8%)
(主な就職、業界等) 東映アニメーション (株)、(株) バンダイナムコフィルム、ユーフォーテーブル (有)、 (株) Seven Arcs、(株) YOSTAR Pictures、(株) キネマシトラス、 (株) プロダクション IG 等のアニメ関連会社			
(就職指導内容) ポートフォリオの作成、個人面接指導、自己啓発、マナー講座、実技試験対策、 会社説明会、業界研究 等			

（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59 人	3 人	5.1%
（中途退学の主な理由） 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業関係		情報専門課程		アニメ学科 アニメ彩色・撮影コース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	8 6 単位 (1,800 単位時間)		24 単位 (240 単位時間)	20 単位	42 単位 (1,560 単位時間)			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80 人の内数		17 人	0 人	3 人の内数		7 人の内数		10 人の内数	
(備考)									
() 内の数字 (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。									

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業を進める中でアニメーションづくりに必要な画力を高める課題を進めながらショートアニメーションから本格的な制作での卒業制作までプロの仕事に即した授業を行う。また専任教員による進路指導や模擬面談などを精力的に行いアニメ会社への就職を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0.0%)	35人 (97.2%)	1人 (2.8%)
(主な就職、業界等) 東映アニメーション(株)、(株)バンダイナムコフィルム、ユーフォーテーブル(有)、 (株)Seven Arcs、(株)YOSTAR Pictures、(株)キネマシトラス、 (株)プロダクションIG等のアニメ関連会社			
(就職指導内容) ポートフォリオの作成、個人面接指導、自己啓発、マナー講座、実技試験対策、 会社説明会、業界研究等			

(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス能力検定、カラーコーディネーター検定、色彩検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59 人	3 人	5.1%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業関係		情報専門課程	イラスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	90単位 (1,800 単位時間)	24 単位 (360 単位時間)	28 単位	38 単位 (1,440 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140 人		144 人	2 人	4 人	10 人	14 人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） イラスト学科では、学生の実践力を高めるため、企業やイラストレーターを招いた講義やポートフォリオ指導を定期的に行っている。担任教員による個別面談では、進路指導や欠席時のフォローなどを行い、学生一人ひとりに応じた支援を行っている。また、コンテストや展示会への出展参加を促し、創作意欲を高めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
66人 (100%)	0人 (0.0%)	54人 (81.8%)	12人 (18.2%)
(主な就職、業界等) クリエイティブ制作会社(株式会社リーフラット、株式会社ループエンド、株式会社エスプラス)ゲーム会社(スタイラス株式会社、株式会社coly)キャラクターグッズ・店舗・イベント企画(ベネリック株式会社)マンガ制作会社(集英社TOON FACTORY)等			
(就職指導内容) ビジネスマナー、ポートフォリオ指導、面接練習、企業説明会の実施、求人紹介、履歴書の添削、個人面談等			

(主な学修成果(資格・検定等)) Photoshop・Illustrator クリエイター能力認定試験、クリップスタジオ検定、 カラーデザイン検定、ビジネス能力検定 (備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
147 人	7 人	4.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業関係		情報専門課程	マンガ・イラスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	90単位 (1,800単位時間)	16単位 (360 単位時間)	36単位	38単位 (1,440 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		17人	1人	3人	5人	8人	
(備考) ()内の数字(○単位時間)は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 毎期末に出版社の編集者を招聘して、学生作品を講評する『編集部批評会』を実施し、学生がプロになるチャンスをつかめるイベントを開催している。 また、マンガやイラストの制作会社と連携を取り、企業セミナーや、求人紹介を随時行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (0.0%)	12人 (80.0%)	3人 (20.0%)
（主な就職、業界等） フリーのマンガ家、イラストレーター、マンガ家のアシスタント、 マンガ制作会社、WEBTOON制作会社 等			
（就職指導内容） ポートフォリオ指導、履歴書の添削、面接トレーニング、 求人紹介、会社説明会の開催 等			

(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス能力検定、マンガ編集部主催の新人賞受賞、在学中の漫画家デビュー、イラストコンテスト受賞 (備考) (任意記載事項)
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	2 人	8.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業関係		情報専門課程		ゲーム学科 ゲームCGキャラクターコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	80単位 (1,800単位時間)		16単位 (240 単位時間)	16単位	48単位 (1,560 単位時間)			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80人の内数		13人	5人	3人の内数		8人の内数		11人の内数	
(備考) ()内の数字(○単位時間)は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。									

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 通常の授業の他、企業連携による課題制作や資格取得授業など学生のスキルアップにつながる取り組みも行う。年2回の個人面談や状況に応じた個別面談を通じ進路指導を行い、個々の目標を定め適切な進路決定に結びつくよう指導している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0.0%)	12人 (66.7%)	6人 (33.3%)
（主な就職、業界等） ゲーム・CG・映像業界（株式会社アピリッツ、株式会社アカネス）等			
（就職指導内容） 履歴書・エントリーシート添削、面接指導、企業説明会開催、インターンシップ紹介 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） CGクリエイター検定、ビジネス能力検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	3 人	10.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業関係		情報専門課程		ゲーム学科 ゲームプログラムコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	8 2 単位 (1,800 単位時間)		16 単位 (420 単位時間)	20 単位	46 単位 (1,380 単位時間)			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80 人の内数		17 人	5 人	3 人の内数		8 人の内数		11 人の内数	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。									

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 通常の授業の他、企業連携による課題制作や資格取得授業など学生のスキルアップにつながる取り組みも行う。年 2 回の個人面談や状況に応じた個別面談を通じ進路指導を行い、個々の目標を定め適切な進路決定に結びつくよう指導している。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18 人 (100%)	0 人 (0.0%)	12 人 (66.7%)	6 人 (33.3%)
(主な就職、業界等) ゲーム・IT 業界 (株式会社プライム・システムズ、株式会社メディア 22 世紀) 等			
(就職指導内容) 履歴書・エントリーシート添削、面接指導、企業説明会開催、インターンシップ紹介 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ビジネス能力検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	3 人	10.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業関係		情報専門課程	フィギュア原型学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	7 4 単位 (1,800 単位時間)	16 単位 (240 単位時間)	4 単位	54 単位 (1,560 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		11 人	3 人	3 人	1 人	4 人	
(備考)							
() 内の数字 (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 前期末・後期末毎に実習で設けた制作課題物のチェックを行っている。また随時、担任による個人面談、進路指導、学外教育活動の紹介等を行い、意欲ある学生の学修を技術面も含め支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13 人 (100%)	0 人 (0.0%)	8 人 (61.5%)	5 人 (38.5%)
(主な就職、業界等) フィギュアメーカー(ベイシカ、アートスピリッツ、コネクトレクト、スパロー)、 佐川急便株式会社、株式会社光沢 等			
(就職指導内容) ビジネスマナー、履歴書添削、ポートフォリオ添削、面接トレーニング、OB 訪問、 企業見学、就活準備講座(身だしなみ等) 等			

（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	0 人	0.0%
（中途退学の主な理由） 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業関係		情報専門課程	I T 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1 0 4 単位 (1,800 単位時間)	68 単位 (1,080 単位時間)	8 単位	28 単位 (720 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		36 人	36 人	3 人	2 人	5 人	
(備考)							
() 内の数字 (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 前期・後期の期末試験、小テスト、実技科目ではさらに成果物の出来栄等により、成績評価をおこなう。また、担任教員による相談受付、面談、進路指導を随時実施、学業に集中できる環境を整え、就職・進学を果たせるよう学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18 人 (100%)	4 人 (22.2%)	5 人 (27.8%)	9 人 (50.0%)
(主な就職、業界等) 大手 SIer、ソフトウェア製作会社、小規模事業所の Web 制作部門 等			
(就職指導内容) 主に履歴書の自己 PR を書くための演習を実施。自己 PR 完成ののち、志望動機を個別に指導。ES、業界・企業・学校研究、SPI 対策 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) MOS 検定、情報処理技術者試験、日本語能力試験			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	5 人	12.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務関係		ビジネス 専門課程		国際情報ビジネス学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1 1 8 単位 (1,800 単位時間)		96 単位 (1,500 単位時間)	12 単位	10 単位 (300 単位時間)			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
160 人		189 人	189 人	6 人		19 人		25 人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。									

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 期末試験・小テスト・課題レポートなどの成果物も含めて達成度を総合的に評価している。日本語の習熟度別クラス編成で各専門科目授業を展開し、学生のニーズに合わせて資格取得を目指している。生活や進路に関する相談については担任教員が個別に対応。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
83 人 (100%)	3 人 (3.6%)	46 人 (55.4%)	34 人 (41.0%)
（主な就職、業界等） 総合職採用：ホテル、飲食店、人材派遣会社、ドラッグストア、情報通信会社 特定技能採用：飲食店			
（就職指導内容） カリキュラムに業界や企業研究に関する授業を通年で開講。校内で企業説明会を開催。担任が個別でも履歴書やエントリーシートの書き方指導、ビジネスマナー指導、面接対策等を行っている。			

(主な学修成果（資格・検定等）) 日本語能力試験（JLPT）N2・N1 Microsoft Office Specialist（MOS）検定 (備考)（任意記載事項）
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
174 人	5 人	2.9%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養関係		文化教養 専門課程	声優学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	8 0 単位 (1, 800 単位時間)	16 単位 (360 単位時間)	16 単位	48 単位 (1, 440 単位時間)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		21 人	0 人	3 人	10 人	13 人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 学内アフレコスタジオ等での実習を通し、現場に近い環境で声優プロ講師による実践的な授業を展開し意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12 人 (100%)	0 人 (0. 0%)	10 人 (83. 3%)	2 人 (16. 7%)
(主な就職、業界等) 声優業界、俳優業界をはじめとした、エンターテインメント業界 等			
(就職指導内容) オーディション対策、プロダクション説明会、マナー指導、プロフィール用紙作成指導、ボイスサンプル作成、一般職への就職対応 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ビジネス能力検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	3 人	9.1%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
文化教養関係		文化教養 専門課程		ノベルス・シナリオ学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1 1 0 単位 (1,800 単位時間)		16 単位 (240 単位時間)	76 単位	18 単位 (1,560 単位時間)			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
50 人		13 人	0 人	3 人		6 人		9 人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、令和 7 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。									

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 各担当教員が学生の作業進捗状況を把握し、添削を重ねスキルアップ出来るようサポートしている。 また学内では他学科とコラボレーションしての作品制作や、学外イベントにも参加。2 年間の集大成として卒業作品を制作し学生の積極的な学修を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9 人 (100%)	0 人 (0.0%)	5 人 (55.6%)	4 人 (44.4%)
（主な就職、業界等） 登録ライター、製造業、小売業 等			
（就職指導内容） 個別面談、履歴書添削、面接指導、業界関係者によるセミナーや講評会を開催 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	2 人	13.3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
アニメ学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	580,000 円	
イラスト学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	580,000 円	
マンガ・イラスト学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	580,000 円	
ゲーム学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	580,000 円	
フィギュア原型学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	580,000 円	
I T 学科 (2年制)	120,000 円	640,000 円	195,000 円	
国際情報ビジネス学科 (2年制)	120,000 円	640,000 円	145,000 円	
声優学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	580,000 円	
ノベルス・シナリオ学科 (2年制)	120,000 円	660,000 円	580,000 円	
修学支援（任意記載事項）				
【学校独自の修学支援制度】 ・奨学金制度（支給） ・授業料減免制度（特待生、クリエイティブ優遇、各種優遇等）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者として、関連企業、卒業生等を含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの専門的・客観的な観点から学校運営、教育活動等について評価を行っている。 評価内容は、学校運営会議等で報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
フィギュア制作会社 社員（部長職）	2025. 4. 1～2026. 3. 31	企業等役員
アニメ制作会社 役員	2025. 4. 1～2026. 3. 31	企業等役員
声優プロダクション 役員	2025. 4. 1～2026. 3. 31	企業等役員
シナリオ制作会社 役員	2025. 4. 1～2026. 3. 31	企業等役員
デザイン制作会社 役員	2025. 4. 1～2026. 3. 31	企業等役員
ゲーム制作会社 社員（部長職）	2025. 4. 1～2026. 3. 31	企業等役員
コミック制作会社 役員	2025. 4. 1～2026. 3. 31	企業等役員
C G アーティスト	2025. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生
地元企業 役員	2025. 4. 1～2026. 3. 31	地域住民

第三者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/
（備考）
第三者評価は未実施であり、令和9年度実施予定であるため、上記表中の第三者評価に係る各項目は、昨年度に実施した学校関係者評価に関する情報を記載している。

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113311600360
学校名（〇〇大学 等）	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人菅原学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		83 人（33人）	91 人（37人）	91 人（37人）
内 訳	第Ⅰ区分	31 人	35 人	
	（うち多子世帯）	（－人）	（－人）	
	第Ⅱ区分	－ 人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（－人）	（－人）	
	第Ⅲ区分	－ 人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（－人）	（－人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	－ 人	－ 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－ 人	11 人	
	区分外（多子世帯）	17 人	19 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－ 人（－人）
合計（年間）				91 人（37人）
（備考）				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0人	0人	-人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	-人
3月以上の停学	0人
年間計	-人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	-人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	-人	0人
計	0人	-人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。